

河原町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			中期(～R元年度)における総括		令和2年度				令和3年度				令和4年度			
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施計画	予算額 (千円)
			～29年度	～31年度	～35年度														
①協働による防犯対策の推進	1. 警察・地域住民(団体)と協働で行う、防犯パトロールの継続と充実 2. 地域住民(団体・学校)と連携したあいさつ運動の啓発・推進「安全で安心なまちづくり」	小中学生の安全・安心な暮らしの確保 【防犯・交通安全対策の充実】	○効果的実施の検討	○効果的に継続実施	○継続実施し、小中学生の安全な暮らしを構築	○青少年育成協議会、園長校長会などで地域の幼保園児、小中学生の現状等について情報共有を行った。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色安全パトロールを実施した。(月、水、金曜日) ○子どもたちが事故や犯罪に巻き込まれないよう、「子ども安全パトロール中」のぼり旗の掲揚や「子ども110番の家」、不審者に遭遇したときの合言葉「イカのおすし」の周知などを行った。	○事業を継続実施する。 ○各地区まちづくり協議会にパトロール実施を呼びかける。 ○子どもたちが通学時や園外活動時に交通事故に遭うことのないよう、「通学路注意」などの補助標識の設置や横断歩道の補充などを行い、未然に交通事故被害を防止する。 ○公園にある遊具の安全点検や危険箇所の把握などを行い、情報を共有する。	○学校の安全教育実践委員会の取り組みの中で小中学校、幼稚園の災害避難マニュアルの見直しを行った。 ○園長・校長会などで小中学生の現状等について情報交換した。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色防犯パトロールを実施した。(月、水、金曜日)	30	19	達成	継続	○河原中学校地域創造学校運営協議会及び園長・校長会などで小中学生の現状等について情報交換した。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色防犯パトロールを実施した。(月、水、金曜日) ○交通安全啓発看板を設置した。	10	25	達成	継続	○河原中学校地域創造学校運営協議会及び園長・校長会などで小中学生の現状等について情報交換した。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色防犯パトロールを実施した。(月、水、金曜日) ○交通安全啓発看板設置。	10
		小中高校生の健全育成及び地域の安全確保(町内犯罪0を目指す) 【防犯・交通安全対策の充実】	○効果的実施の検討	○効果的に継続実施	○継続実施し、安全で安心に暮らせるまち「河原町」の構築	○青少年育成協議会、園長校長会などで少年犯罪の発生状況、傾向などについて情報を共有した。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施した。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施した。	○事業を継続実施する。 ○専門機関との連携について検討する。 ○元年に県外で通り魔による児童殺傷事件が発生していることから、智頭警察署と連携したパトロールなどの活動を行う。	○コロナにより行事中止	-	-	未達	継続	○河原中学校地域創造学校運営協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報交換した。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールはコロナのため中止	-	-	達成	継続	○河原中学校地域創造学校運営協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報交換した。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施。	-
		①あいさつ運動の啓発を進めて道徳の高揚を図る ②地域に暮らす全ての世代がお互いに声を掛け合い、助け合う「風土づくり」と「防犯の意識づくり」を行い、発展させることにより、地域と行政の協働による安全で安心なまちづくりを図る 【防犯・交通安全対策の充実】	○応募数増に向けた取り組み検討(周知徹底ほか)	○応募者増に向けた取り組み実施	○応募者の増 ○「風土づくり」と「防犯意識の向上」を地域と行政による協働の取り組みで図る	○防犯定規を小学生への賞品とし、小学生全員から応募があった。 ○標語に親子で取り組むことにより、保護者からも多数応募をいただいた。 ○幼稚園児、小中学生、一般のあいさつ標語優秀作品6点を看板にし、地域に設置した。 ○智頭警察署管内防犯協議会で情報共有、意見交換を行った。 ○交通安全の呼びかけと併せて市民と行政協働であいさつ運動を実施した(10月) ○J.R.駅での高校生マナーアップさわやか運動に参加した。	○関係機関、団体との連携により、地域全体での継続した取り組みを進めていく。	○あいさつ標語の募集し、看板を作製、設置した。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行った。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を各学校、PTAなど市民と行政が協働で実施した。	33	33	達成	継続	○あいさつ標語の募集をし看板を作製、設置した。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行った。 ○交通安全の見守りに併せ、あいさつ運動を各学校、PTAなど市民と行政が協働で実施した。(10月12日～10月18日) ○交通安全の啓発と併せ高校生さわやかあいさつ運動を実施した。(12月16日)	53	38	達成	継続	○あいさつ標語の募集をし看板を作製、設置する。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行う。 ○交通安全の啓発に併せ、あいさつ運動を各学校、PTAなど市民と行政が協働で実施する。	53

河原町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			中期(～R元年度)における総括		令和2年度				令和3年度				令和4年度			
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施計画	予算額 (千円)
			～29年度	～31年度	～35年度														
②農業の振興と有害鳥獣対策の推進	1. 専業農家、農産物加工グループ、高齢化農家の支援と所得向上 2. 有害鳥獣被害防止支援と獣肉のジビエ活用推進	【これからの河原地域の農業振興の在り方等】について当事者の生きた意見を把握し、今後の施策に反映する。(H27年度変更) 【農林水産業の振興】	○専業農家、認定農業者、新規就農者、農業関係団体等による「意見交換会」を実施する(H27年度変更)	○専業農家に対して、国県市等の支援策を関係機関と連携して情報提供を行う。	○専業農家に対して、国県市等の支援策を関係機関と連携して情報提供を行う。	○【これからの河原地域の農業振興の在り方等】について当事者の生きた意見を把握するため河原地域の農業振興に係る意見交換会を実施し、新規就農者へのアドバイスなど意見交換や情報共有を行った。	○事業を継続して実施する。	○コロナ拡大防止のため中止	-	-	未達	継続	○コロナ拡大防止のため中止	-	-	未達	継続	○事業を継続して実施する。	
		専業農家の生産コストの削減とブランド販売を目的とした販路の拡大 【農林水産業の振興】	○個人、農事組合等に対して「法人化」への積極的なPR・促進計画策定 ○JA、県普及所等と連携して法人化出前説明会の実施	○集落営農等法人設立 ○既存農業法人等の規模拡大促進	○集落営農等法人設立促進 ○既存農業法人等の規模拡大	○「法人化」へのPRとして、「人・農地プラン、法人化」の事業を紹介するチラシを配布した。 ○法人化出前説明会を14集落で行った。	○法人化された団体の組織化後に対する課題等を把握し情報共有を行う。 ○新規団体や法人化を検討している団体との情報交換を行う。	○人・農地プランの実質化に向けた説明会を3集落で行った(アンケート実施2集落)。	-	-	達成	継続	○人・農地プランの実質化に向けた説明会を3集落で行った(アンケート実施2集落)。 ○新規法人化を検討している組織・集落への情報提供を行った。	-	-	達成	継続	○既存農事組合法人への規模拡大に係る支援及び、新規法人化を検討している組織・集落への情報提供の実施。	
		①農産物加工グループ(地元任意団体)の商品販売額(販売量)の向上 ②河原町特産品販売の拡大 【農林水産業の振興】	○農産物加工グループの洗い出しとカルテ作成 ○既存加工品の診断及び改良 ○「とっとり旨味工房かわはら」の活動支援と活性化	○新たな農産物加工品の創出・テスト販売 ○既存加工品のグレードアップと市場化・消費者テストの実施	○農産物加工品等の販売増	○加工グループの現状把握に努め、研修会、県外県内でのPR活動に対する支援を行った。	○農産物加工グループとの現状把握と情報交換を引き続き実施する。	○加工グループの現状把握に努め、研修会、県外県内でのPR活動に対する支援を行った。	-	-	達成	継続	○加工グループの現状把握に努め、研修会、県外県内でのPR活動に対する支援等を行った。	-	-	達成	継続	○農産物加工グループとの現状把握と情報交換を引き続き実施する。	
		有害鳥獣被害防止対策の推進と獣肉解体施設稼働率向上及び解体獣肉の販売量の増 【農林水産業の振興】	○侵入防止柵等の安価で効果的な設置方法の検討と実証 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上 ○解体施設設備の改良・増設の助言並びに支援 ○施設管理者と利用者とのマニュアル充実	○侵入防止柵等の安価で効果的な設置方法の創出 ○狩猟捕獲従事者組織の育成 ○「いなばのジビエ推進協議会」と連携して、市内旅館・料亭等への獣肉の販売の拡大	○侵入防止柵等の効果的設置方法(モデル)確立 ○狩猟捕獲従事者に対する新たな支援強化 ○ジビエ料理の定着と普及推進のため、モデル的な取り組み実施	○各集落に呼掛け電気柵等の設置事業に対して助成を行った。 ○獣害対策を地域ぐるみで行うための研修会に地元とともに参加した。	○事業を継続して実施する。 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上を図る。 ○北村解体施設の施設管理者と利用者のマニュアルを充実する。	○各集落に呼掛け電気柵等の設置事業に対して助成を行った。 ○獣害対策を地域ぐるみで行うための研修会に地元とともに参加した。	1,260	1,260	達成	継続	○各集落に呼掛け電気柵等の設置事業に対して助成した。 ○地域で取り組む獣害対策体制づくりを構築するため、情報共有・連携を図った。	1,073	1,066	達成	継続	○地域で取り組む獣害対策体制づくりを構築するため、情報共有、連携を図る。	

河原町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			中期(～R元年度)における総括		令和2年度				令和3年度				令和4年度			
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施計画	予算額 (千円)
			～29年度	～31年度	～35年度														
③企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)	工業団地の確実な整備と企業誘致また空き家活用によるUJターン者の増のほか宅地造成分譲による若者の定住促進	河原インター山手工業団地への企業誘致及び既設工業団地の拡張整備による企業誘致 【工業の振興】	○河原インター山手工業団地の整備完了と企業への分譲 ○既存工業団地拡張整備の着手と完成地からの分譲開始	○河原インター山手工業団地の企業への分譲促進 ○既存工業団地の拡張整備推進と完成地からの分譲開始	○河原インター山手工業団地分譲完了 ○既存工業団地拡張整備分譲完了	○河原インター山手工業団地は整備を完了し、概ね企業への分譲の目的が立った。 【整備状況】 ・平成30年3月完成。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約4.0ha(約66%)は分譲済、約2.1haは分譲予約済。 ○布袋工業団地の拡張整備を推進し、完成地の一部を分譲した。 【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	○それぞれの工業団地への分譲を進める。	○河原インター山手工業団地は整備を完了し、概ね企業への分譲の目的が立った。 【整備状況】 ・平成30年3月完成。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約3.2ha(約52%)は分譲済、約2.9haは分譲予約済。 ・(株)城洋(H30.3.28開印) ○布袋工業団地の拡張整備を推進し、完成地の一部を分譲した。 【整備状況】 ・分譲面積約13.5haの内約10ha整備済 【分譲状況】 ・分譲面積約13.5haの内約10haを分譲済	-	-	達成	継続	○河原インター山手工業団地は整備を完了し、概ね企業への分譲の目的が立った。 【整備状況】 ・平成30年3月完成。 【分譲状況】 ・分譲面積約7.5haの内、約4.0ha(約52%)は分譲済、約3.5haは分譲予約済。 ・(株)城洋(H30.3.28開印) ○布袋工業団地の拡張整備を推進し、完成地の一部を分譲した。 【整備状況】 ・分譲面積約13.3haの内約12.8ha整備済 【分譲状況】 ・分譲面積約13.5haの内約8.8haを分譲済	-	-	達成	継続	○それぞれの工業団地への分譲を進める。	
		河原町へのUJターン者の増(町外からの移住者) 【ふるさと・いなな回帰の促進】	○河原町へのUJターン者の増に向けた検討 ○空き家情報収集	○河原町へのUJターン者の増への取り組み強化	○河原町へのUJターン者増	○河原町神馬の空き家を借り上げ、(一社)西郷工芸の郷あまじやくに移住定住空き家運営業務を委託しお試し住宅を開設、西郷地区へのUJターン者の受け入れ体制を強化した。	○おためし住宅の利用率の向上を図る必要がある。	○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが行う、お試し定住体験事業(神馬)、移住定住空き家運営業務(西郷地区へのUJターン者の受け入れ)を支援した。	577	527	達成	継続	○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが行う、お試し定住体験事業(神馬)、移住定住空き家運営業務(西郷地区へのUJターン者の受け入れ)を支援した。	617	605	達成	継続	○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが行う、お試し定住体験事業(神馬)、移住定住空き家運営業務(西郷地区へのUJターン者の受け入れ)を支援する。	747
		民間企業等参入による新たな宅地造成と分譲による定住促進 【工業の振興】	○民間事業者への呼びかけと支援策の検討及び法手続き等の開始	○宅地造成の開始と完成地からの分譲開始	○宅地造成完了と分譲完了	○民間による宅地造成が実施された。	○引き続き、有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保に向けて支援する。	○引き続き、有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保に向けて支援する。	4,961	4,766	達成	継続	○有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤の確保を支援した。 ○西郷地区工芸祭りを支援した。(令和2年10月23-25日開催、来場者数450人) ○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが行っている北村シェアハウス、本鹿のゲストハウスの運営等を支援した。 ○西郷地区の活性化のため、地域おこし協力隊員1名を継続雇用した。	5,078	4,927	達成	継続	○有望な若手工芸作家の研修、生活基盤の確保を支援する。 ○西郷地区工芸祭りを支援する。 ○(一社)西郷工芸の郷あまじやくに委託している北村シェアハウス、本鹿のゲストハウスの運営等を支援した。(ゲストハウス宿泊者6名、のべ83泊) ○西郷地区の活性化のため、地域おこし協力隊員1名を継続雇用した。	4,429

河原町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			中期(～R元年度)における総括		令和2年度				令和3年度				令和4年度			
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施計画	予算額 (千円)
			～29年度	～31年度	～35年度														
④子育て・教育環境の充実	1. 学校施設の耐震化、生涯学習施設(中央公民館、地区公民館)の耐震化 2. 体育施設の整備(プール、体育館、運動場等)	各種教育・生涯学習・体育施設の耐震改修と整備及び中央公民館・体育施設等の効率的且つ効果的な管理体制を図る 【地域防災力の充実】	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修 ○八上地区公民館耐震改修、西郷地区公民館整備 ○町内体育施設の計画的整備 ○中央公民館のあり方検討	○体育施設の計画的整備及び管理方法の見直しと一部実施 ○河原町コミュニティセンターのあり方について決定	○河原町コミュニティセンター・体育施設等の計画的整備の完了と効率的且つ効果的な管理体制への移行	○体育施設の一部(総合体育館、勤労者体育館)を指定管理とした。 ○河原町コミュニティセンターの耐震整備等について、継続的な関係協議の場を持つことができた。 ○旧可燃物処理場跡地新運動場を整備に係る実施・測量設計、用地買収、埋蔵文化財の本調査が実施された。 ○屋内運動場と防災備蓄倉庫を兼ね備えた国英地区活性化施設(仮称)の整備に係る実施設計を行った。	○河原市民プールの施設修繕、指定管理移行など、今後のあり方について方向性の検討の必要がある。 ○コミュニティセンターについては、具体的な施設規模等を検討し、施設整備の実施に向け取り組む必要がある。 ○旧可燃物処理場跡地新運動場整備については、関係課等(企業立地支援課、開発公社)との協議により、施設施工状況を注視していき、維持管理の方向性を整理する必要がある。	○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と複合化に向けての協議を行った。 ○河原町総合運動場(野球場・グランドゴルフ場)を整備に着手した。 ○国英地区活性化施設(仮称)の建設工事を行った。	132,484	132,483	達成	継続	○河原町総合運動場(野球場・グランドゴルフ場)を整備した。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を行った。 ○屋内運動場と防災備蓄倉庫を兼ね備えた国英地区活性化施設(国英いこいの丘)の整備を行った。	482,623	482,615	達成	継続	○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議する。	
	3. 地域住民と小・中学校生徒及びPTAと連携した「河原町未来を語る会」の継続 4. 河原町文化祭などの文化活動の推進	「河原町未来を語る会」への参加者数の増と小中学生による実証 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○園児・保護者、PTAを含めた「河原町未来を語る会」の実施と小中学生の提言等を各まちづくり協議会と共有し、各地域づくりの推進に向け検討する	○小中学生の提言に対する。地域住民・行政・教育等での実施検討と実証(河原町地域の宝マップ作成等)	○小中学生による地域の宝を活用した地域振興の実施(実証)	○「河原町未来を語る会」として地域の児童生徒及び住民による意見交換による事業の実施などが進められている。	○郷土愛を持った子どもたちの成長につなげていくため、地域とかわり、より身近な実践と評価を行っていく取り組みとなるよう進めていく。	○中学2年生各小学校6年生により「河原町未来を語る会」を実施し、地域の魅力、防災についてワークショップを行った。(令和2年12月8日開催)	-	-	達成	継続	○「河原町未来を語る会」を児童生徒の実践発表と意見交流を中心として河原中学校で実施した。(12月6日(月)開催124名参加)	-	-	達成	継続	○「河原町未来を語る会」の開催(12月開催予定)	
	河原町文化祭への出展作品数・来場者数の増 【生涯学習の推進】	○出展作品数・入場者数増への取り組み検討・実施	○出展作品数・入場者数増に向けた取り組み強化	○出展作品数・入場者数の増	○アンケート結果や反省会の結果を踏まえて実行委員会で協議のうえ、改善や対策を実施し、順調に事業を実施できている。出展作品のレベルも年々上がってきている。 ○元年度は文化祭と人権ふれあい文化祭を合同日程で12月に河原町文化祭として実施し、作品展示も一括して行った。	○元年度に人権ふれあい文化祭と合同実施した河原町文化祭がおおむね好評であったので、次年度以降も連携し、3日間の日程で10月～11月に開催する。	○コロナのため作品展のみであったが文化祭を継続実施した。出展作品数は減少したが、来場者数は550人と盛況であった。(令和2年11月6日～8日)	491	491	達成	継続	○コロナ対策のため通常より規模を縮小(作品展約1100点・出演団体16団体)し、来場者数は約1000人と比較的盛況であった。(令和3年11月5日～7日)	491	491	達成	継続	○作品展、音楽芸能発表会、バザー・茶席、人権講演会開催予定	491	

河原町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			中期(～R元年度)における総括		令和2年度				令和3年度				令和4年度				
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施計画	予算額 (千円)	
			～29年度	～31年度	～35年度															
⑤観光振興に伴う交流人口の増	1. 河原城・湯谷荘・三滝荘への来訪者の増を目指す。 2. ジオパークエリアにある霊石山また八上姫を祀る売沼神社の知名度アップとこれらを活用した地域活性化の促進 3. 年間約150万人が訪れる「道の駅 清流茶屋 かわはら」を活用し、河原町の情報発信と新たな特産品等の創出販売促進	①河原城への入館者増 ②湯谷荘の利用者増 ③三滝林間施設への入込客増 【滞在型観光の推進】	○各施設の利用実態調査実施・分析 ○魅力創出とPRの推進(SNS等多様な情報発信による知名度アップ) ○道の駅かわはらネットワーク協議会の再構築	○旅行者への売り込み ○各施設の年間利用者数の増に向けた情報発信強化	○各施設の年間利用者数の増	③三滝林間施設の今後の在り方検討。	林間施設の指定管理者を含めたあり方検討。	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討する。 ○各施設が行う事業等を支援した。 ○鳥取市三滝林間施設あり方検討委員会を設置した。	567	567	達成	継続	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討した。 ○各施設が行う事業等を支援した。 ○三滝林間施設の在り方について地元を始め関係機関と検討した。	604	511	達成	継続	林間施設の指定管理者を含めたあり方を検討する。		
		①グリーンツーリズムの推進(民泊受入者の増) ②むらとまち交流の増 【滞在型観光の推進】	○新たな民泊及びむらとまち交流等の掘り起しと既存ツーリズムの再生	○民泊開設・交流の増 ○新たな体験メニューの創出	○団体受入可能なグリーンツーリズム(民泊等)組織の確立 ○多様な体験メニュー(ツーリズム)の運用 ○むらとまち交流の増	○各地区まちづくり協議会のむらとまち交流事業を支援した。(国英地区と岩倉地区、八上輝きの里づくり協議会と丹波篠山市八上校区) ○交流事業の継続及び新たな交流事業の増加 ○民泊の新たな受け入れ先の拡大及び受け入れ組織の確立	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討する。 ○各施設が行う事業等を支援した。 ○鳥取市三滝林間施設あり方検討委員会を設置した。	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討する。 ○各施設が行う事業等を支援した。 ○鳥取市三滝林間施設あり方検討委員会を設置した。			未達	継続	○コロナにより中止			未達	継続	○各地区まちづくり協議会のむらとまち交流事業を支援。 ○西郷地区むらづくり協議会やどかり部による修学旅行や武蔵野市との交流事業の受け入れ等の民泊事業実施。		
		①河原町の各種観光情報発信の充実強化(道の駅活用) ②新たな特産品の創出と販売 【滞在型観光の推進】	○地域おこし協力隊設置による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出 ○道の駅を活用した新たな情報発信検討	○多様なSNSを活用した連携情報発信の構築 ○新たな特産品の販売	○道の駅を活用した「河原町観光情報発信」の充実 ○新たな特産品等の販売増	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化した。	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化した。	○かわはら道の駅等を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化する。	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化した。 ○鳥取市南地域利用促進会議と連携し、南地域ふるさとマルシェを開催した。			達成	継続	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化した。 ○鳥取市南地域利用促進会議と連携し、南地域ふるさとマルシェを開催した。			達成	継続	○かわはら道の駅等を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化する。	
		あゆ祭りの情報発信強化等により因幡の夏イベントとして定着(2万人以上の来場者維持) 【滞在型観光の推進】	○あゆ祭りの情報発信強化(知名度アップ等)に向けての検討	○あゆ祭り情報の多様な発信	○とっとり因幡の夏イベントとして定着	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、企画内容を見直すなどにより来場者も増加している。	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、企画内容を見直すなどにより来場者も増加している。	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、企画内容を見直すなどにより来場者も増加している。	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、企画内容を見直すなどにより来場者も増加している。			未達	継続	○コロナにより中止	5,145	62	達成	継続	○ポスターチラシに留まらない多様な情報発信を検討する。	5,145
		ジオパークエリア霊石山の観光資源の再発掘、整備、活用をして魅力を向上し、来訪者の増を目指す 【滞在型観光の推進】	○国英地区と協同して霊石山(関係含む)のデータ収集と利活用の検討 ○山頂へのアクセス道整備	○埋もれている地域資源の再整備と利活用を図る ○ジオガイドの養成 ○ウォーキングマップ作成	○観光資源等の整備完了 ○霊石山への来訪者増	○霊石山をまちづくりに活用することを目的とした事業を実施した。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備を継続して実施した。 ○山頂へのアクセス道を整備した。 ○ジオガイドを養成した。 ○ウォーキングマップを作成した。	○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会による霊石山伊勢ヶ平整備が継続して実施された。 ○道の駅河原や河原城主催によるアウトドア教室や散歩会など、霊石山を活用した事業が行われた。	○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会による霊石山伊勢ヶ平整備が継続して実施された。 ○道の駅河原や河原城主催によるアウトドア教室や散歩会など、霊石山を活用した事業が行われた。			達成	継続	○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会による霊石山伊勢ヶ平整備が継続して実施された。 ○道の駅河原や河原城主催によるアウトドア教室や散歩会など、霊石山を活用した事業が行われた。			達成	継続	○国英地区との連携により霊石山の活用や魅力の発信などを実施できるようなプランをつくる。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備を継続する。 ○山頂へのアクセス道を整備する。		
		売沼神社等への来訪者の増 【滞在型観光の推進】	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析また各関係者と利活用の検討	○観光ガイドの養成	○観光ガイドの創出 ○来訪者の増	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析並びに利活用について、鳥取市南商工会との連携を検討し河原地域をはじめ鳥取南部地域の食材や観光施設を活かした観光商品化を検討するための様々なモニターツアーを鳥取南商工会が中心となって行った。	○河原町観光協会が中心となり八上姫公園の清掃活動や石像の設置を行った。また、新たに発足した「古事記・八上比売」観光活用推進協議会では、案内看板の設置やキャラクターデザインなど継続した観光を核とする地域づくりの取組みが行われた。	○河原町観光協会が中心となり八上姫公園の清掃活動や石像の設置を行った。また、新たに発足した「古事記・八上比売」観光活用推進協議会では、案内看板の設置やキャラクターデザインなど継続した観光を核とする地域づくりの取組みが行われた。			達成	継続	○河原地域をはじめ鳥取南部地域の魅力の発信と資源を活用した地域づくりの取組みが行われた。			達成	継続	○観光を核とする地域づくりの取組みを行う。		

第2回河原地域振興会議協議・報告事項

自治会長の時に地区要望として、希望する集落にAEDを設置していただきたい。と要望しましたが、市の設置基準があり設置できない。との返答でありました。

山間地域は、集落の人工も少なく人が常駐している所はほぼありません。あるところには公民館・小学校など複数ありますのに何とかならないものかと思います。全ての集落ではなく希望する集落には設置していただきたいものです。救急車の到着に時間のかかるところでは1分1秒を争う場合もあります。到着まで心臓マッサージ・人工呼吸などできる限りのことをしたいものです。私の集落でも老人会の研修に今年度AEDの訓練をやろうと計画しています。AEDの正しい知識を学んでいただき心臓マッサージ・人工呼吸の方法などの講習をしていただく予定にしています。いざというときに自分たちを守るためにも市の基準を見直すことも必要ではないかと思います。救急車が到着するまで手をこまねいているだけでは救える命も救えません。杓子定規に基準を楯に設置できないでは同じ住民税を納めている集落としては釈然としません。

※ 提出期 令和4年5月18日(水)

※ 提出先 地域振興課

FAX0858-85-0672